

佐世保共済病院 調剤内規

(保険薬局用)

ここに示す当院における調剤内規の内容は、あくまでも参考程度に記載しており、必ずしも同じ様に調剤をお願いするものではありません。ただし、調剤方法で変更になる部分がありましたら、患者さんへの説明をお願い致します。

佐世保共済病院 薬剤科
2015.1.30 現在

【錠剤の分割・粉砕】

割線の有無に関わらず、分割が可能であれば、簡易な半割器などを用いて分割調剤(0.5 錠、0.25 錠)を行っている。

ただし腸溶性製剤など製剤的工夫が失われるなどの理由から、半割や粉砕を避けたほうがよい薬剤に関しては、電子カルテ上で入力制限をかけている。

【一包化】

医師からの一包化指示を基に連続分包(AA 分包)で作成し、朝・昼・夕・寝る前で別薬袋としている。分包紙に患者名、用法、薬品名を印字している。

ただし吸湿などの理由で一包化対象外としている薬剤に関しては、一包化指示があってもヒートシールのまま、別薬袋で調剤している。

錠剤と散剤は別分包している。

※一包化対象外としている薬剤

麻薬製剤、エフピーOD、エルカルチン、オーグメンチン配合錠、サーティカン、ゾーミッグRM、ナゼアOD、イリボー、キックリン、クラリチンレディタブ、タリオンOD、デパケン、ノルバデックス、バルトレックス、フロリードゲル経口用、プラザキサ、ラジレス、リオナ、レナジェル、ロトリガ、SPトローチ

【散剤】

繰り返し分包(AB 分包)で作成している。分包紙に患者名、用法、薬品名を印字している。

同一 Rp.中に複数の散剤が処方されていれば原則として混合するが、以下の場合を例外とする。

- ・配合により味が変わる場合
例)クラリシッドドライシロップとムコダイン DS
- ・配合変化を起こす組み合わせ
例)アスピリンと重曹
- ・1 回量が既製品の 1 回量である場合
⇒既製品を優先し、別包とする。
- ・抗菌薬は整腸剤以外とは混合しない

1 回量が 0.1g未満の場合は、分包誤差を少なくするために、乳糖水和物を賦形剤として処方してもらい、混合している。ただし顆粒は賦形しない。

また乳糖水和物と配合変化を起こす薬剤は賦形しない。

例)アスピリン

以下の散薬は分包紙に名称を印字している。

※散剤予製一覧

CMCP（1g／包）

ロキソプロフェンナトリウム細粒 10%「日医工」	0.6g
チザニジン顆粒 0.2%「日医工」	0.25g
バランス散 10%	0.05g
カフェイン水和物原末「マルイシ」	0.03g
乳糖「ホエイ」CF	0.07g

鼻洗剤（8g／包）

塩化ナトリウム「オーツカ」	4g
重曹「ホエイ」CF	4g

【水剤】

原則原液調剤を行っている。小児で1回量が整数にならない場合は単シロップを最低量処方してもらい、1回量を整数にすることでキャップ（容器のふた）や薬杯で計量できるようにしている。ザイザルシロップのみ精製水を処方してもらい1回量を整数にしている（最高14日分）。インクレミンシロップは遮光容器で渡している。

※小児科の食物アレルギー患者が、誤食時に緊急に服用できるよう、屯用として処方されることがある。この場合は、ザイザルシロップ（1回2.5ml）を単剤で1回分ずつ小分けして渡している（5ml容器を使用）。

外用水剤は遮光容器で渡している。

【軟膏】

同一Rp.であっても混合指示がないと混合しない。

軟膏容器に入れる際、使用部位・使用順序などの指示がある場合は、ふたに記載して他と区別できるようにしている。

以下の軟膏は予製しているため、略号を記載している。

※軟膏予製一覧

LH	ロコイドクリーム 0.1%	1
	ヒルドイドソフト軟膏 0.3%	1（混合）

NH	ネリゾナユニバーサルクリーム 0.1%	1	
	ヒルドイドソフト軟膏 0.3%	1	(混合)
ZA	亜鉛華(10%)単軟膏「ホエイ」	1	
	アズノール軟膏 0.033%	2	(混合)
RZ	リンデロンVG軟膏 0.12%	1	
	亜鉛華(10%)単軟膏「ホエイ」	1	(混合)
HP	ヒルドイドソフト軟膏 0.3%	1	
	プロペト	1	(混合)
AZ	アズノール軟膏 0.033%		(単剤)
RS	レスタミンコーワクリーム 1%		(単剤)
P	プロペト		(単剤)
ZS	亜鉛華(10%)単軟膏「ホエイ」		(単剤)
CZL	カチリ「ホエイ」		(単剤)
V	白色ワセリン「マイラン」		(単剤)
SV	5%サリチル酸ワセリン軟膏「東豊」		(単剤)
PSL	プレドニゾン軟膏 0.5%「マイラン」		(単剤)

【その他】

- ・経腸栄養剤などのフレーバーは、患者さんの希望に応じて、製薬会社提供のものを渡している。
- ・ベイスンなどは製薬会社提供のブドウ糖を 1 袋渡している。
- ・小児科の用法で 「食事に関係なく」 がある。
- ・散剤は、製品量の場合は 「g 製」、 成分量の場合は 「mg 加」 と記載している。